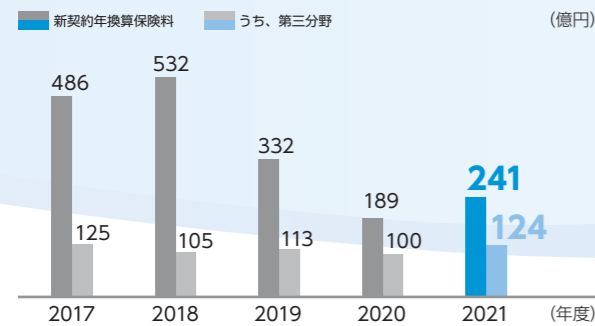


経営データ

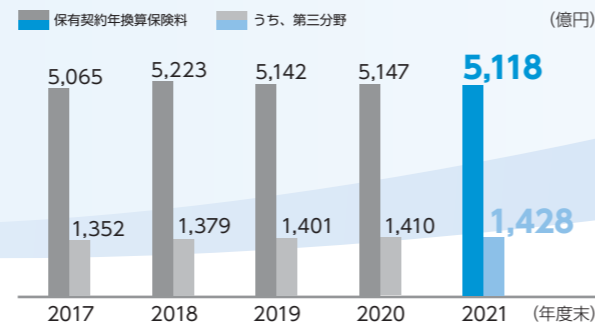
財務ハイライト (2021年度)

● 新契約年換算保険料



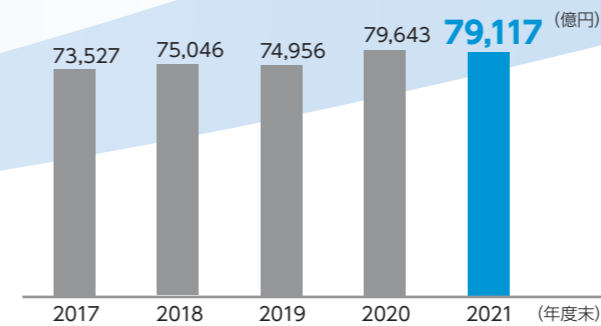
新契約年換算保険料は、前年に営業活動を自粛していたことの反動、および一時払外貨建養老保険の販売が増加したことから、前年度比27.0%増の241億円となりました。また、医療保障・生前給付保障等の第三分野は、前年度比23.8%増の124億円となりました。

● 保有契約年換算保険料



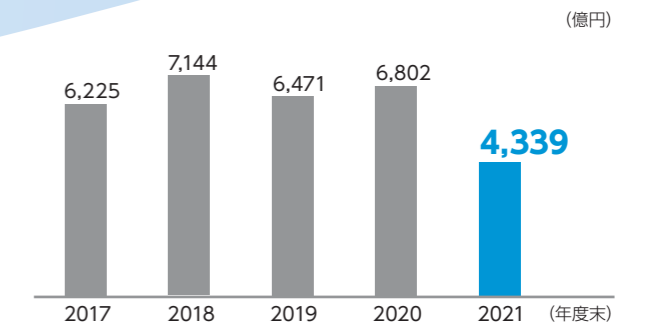
保有契約年換算保険料は、前年度末比0.6%減の5,118億円となりました。また、医療保障・生前給付保障等の第三分野は、前年度末比1.2%増の1,428億円となりました。

● 総資産



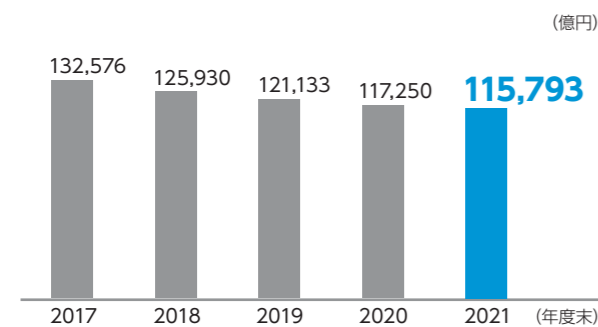
会社の規模を表す総資産は、前年度末比0.7%減の7兆9,117億円となりました。

● 有価証券含み損益 (一般勘定)



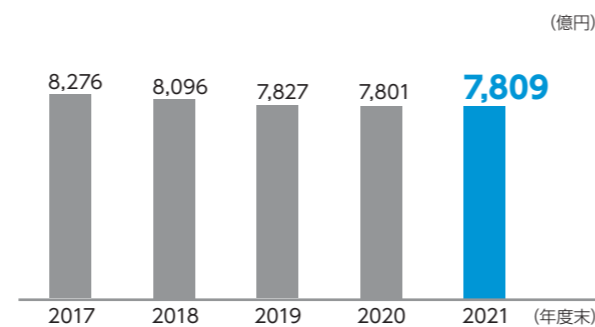
有価証券全体(市場価格のない株式等および組合等は除く)の含み損益は、国内外の金利上昇により、前年度末から2,462億円減少し、4,339億円となりました。

● 団体保険 (保有契約高)



団体保険の保有契約高は、前年度末比1.2%減の115,793億円となりました。

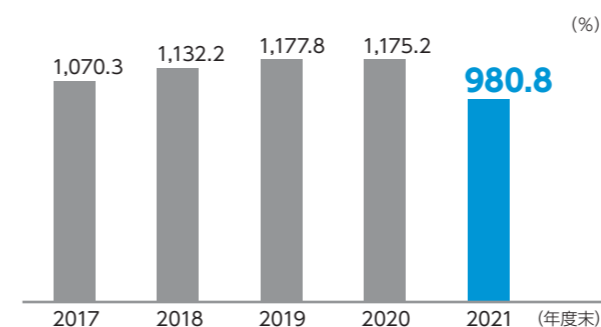
● 団体年金保険 (保有契約高)



団体年金保険の保有契約高は、前年度末比0.1%増の7,809億円となりました。

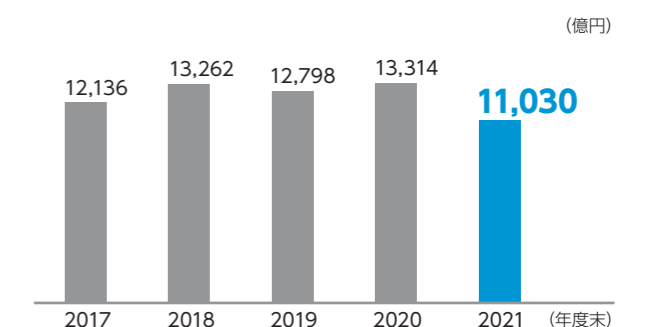
(注) 団体年金保険の保有契約高は、責任準備金の金額。

● ソルベンシー・マージン比率



通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる支払余力を有しているかを判断するための指標であるソルベンシー・マージン比率については、金利上昇に伴う有価証券の含み益の減少および劣後債務残高の削減等により、前年度末から194.4ポイント減少し、980.8%となりました。

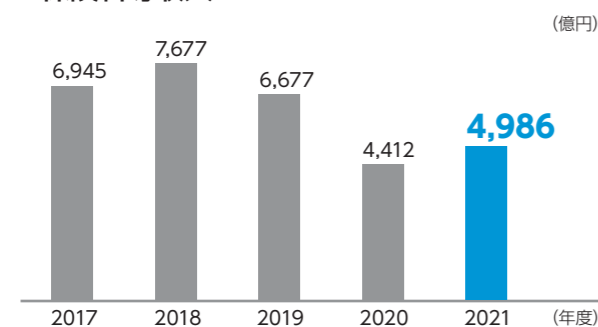
● 実質純資産額



有価証券や不動産の含み損益などを反映した「実質的な資産」から、負債の部に計上されている価格変動準備金や危険準備金等を控除した「実質的な負債」を差し引くことにより算出されます。

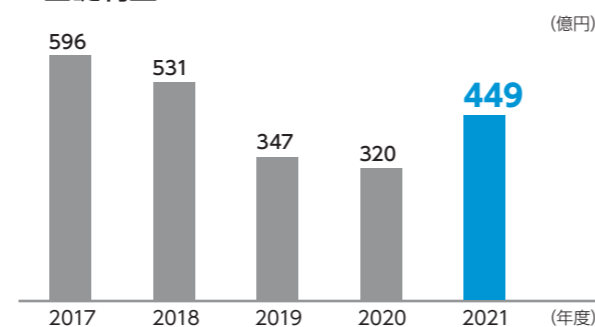
2021年度末の実質純資産額は、有価証券の含み益の減少等により、前年度末比17.2%減の1兆1,030億円となりました。

● 保険料等収入



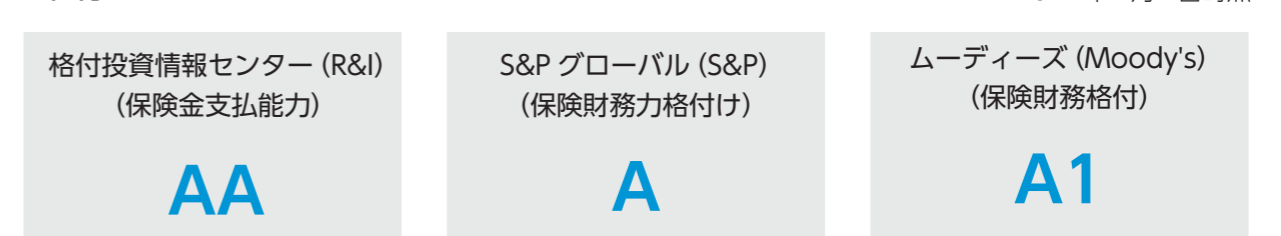
保険料等収入は、一時払外貨建養老保険の販売増加を主因に、前年度比13.0%増の4,986億円となりました。

● 基礎利益



基礎利益は、国内株式配当金の増加等により利益増が改善したこと、外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の戻入により、危険差益が増加したことから、前年度比40.1%増の449億円となりました。

● 格付け



格付けとは、第三者である格付会社が、保険会社の保険金支払い能力等に関する確実性を表したものです(保険金支払等について保証を行うものではありません)。

2022年7月1日時点

資産の状況 (貸借対照表 (B/S) の主要項目)

(単位:百万円)

科 目	2020年度末	2021年度末
(資産の部)		
現金及び預貯金	664,860	643,524
買入金銭債権	7,825	7,231
1 有価証券	6,000,726	6,090,035
2 貸付金	981,612	943,469
有形固定資産	230,130	151,275
無形固定資産	14,004	13,092
再保険貸	15,339	61
その他資産	49,752	62,264
前払年金費用	468	1,201
貸倒引当金	△404	△414
3 資産の部合計	7,964,316	7,911,741
(負債の部)		
4 保険契約準備金	6,509,810	6,586,793
再保険借	475	16,009
社債	80,000	90,000
その他負債	620,248	594,060
退職給付引当金	45,533	44,256
役員退職慰労引当金	428	405
5 価格変動準備金	73,404	76,618
繰延税金負債	51,110	18,079
負債の部合計	7,381,010	7,426,223
(純資産の部)		
資本金	167,280	167,280
資本剰余金	47,342	47,342
利益剰余金	109,809	110,512
株主資本合計	324,432	325,134
6 その他有価証券評価差額金	258,873	160,383
評価・換算差額等合計	258,873	160,383
純資産の部合計	583,305	485,518
負債及び純資産の部合計	7,964,316	7,911,741

1 有価証券

2021年度末の有価証券残高は、前年度末比1.5%増の6兆900億円となりました。内訳は、公社債が前年度末比1.9%増の3兆4,649億円、株式が同4.8%増の4,666億円、外国証券が同0.5%増の2兆49億円となっています。

2 貸付金

貸付金には、保険契約者に対する「保険約款貸付(保険契約者貸付・保険料振替貸付)」と、内外の企業や国・政府機関等に対する「一般貸付」があります。

2021年度末の貸付金残高は、前年度末比3.9%減の9,434億円となりました。内訳は、保険約款貸付が前年度末比7.9%減の347億円、一般貸付が同3.7%減の9,086億円となりました。

3 総資産

2021年度末の総資産は、前年度末比0.7%減の7兆9,117億円となりました。

4 保険契約準備金

保険契約準備金は、保険業法において積み立てが義務付けられているものであり、その大半が責任準備金により占められています。責任準備金とは、生命保険会社が将来の保険金や年金、

給付金の支払いを確実にを行うため、保険料や運用収益等を財源に積み立てる準備金を指します。当社は、最も堅実で手厚い積立方式である「平準純保険料式」により積み立てています。

2021年度末の保険契約準備金残高は、前年度末比1.2%増の6兆5,867億円となりました。内訳は、支払準備金が前年度末比13.8%増の296億円、責任準備金が同1.2%増の6兆5,042億円、契約者配当準備金が2.6%減の528億円となっています。

5 価格変動準備金

価格変動準備金は、株式などの価格変動の著しい資産について、その価格が将来下落したときに生じる損失に備えることを目的に保険業法に基づいて積み立てている準備金です。

2021年度末の価格変動準備金は、前年より32億円積み増して、766億円となりました。

6 その他有価証券評価差額金

「その他有価証券」を時価評価したときの評価差額について、税効果相当額を除いた金額を貸借対照表の純資産の部に計上しています。

収支の状況 (損益計算書 (P/L) の主要項目)

(単位:百万円)

科 目	2020年度	2021年度
1 経常収益		
1 保険料等収入	844,970	814,019
2 資産運用収益	441,255	498,644
3 資産運用収益	388,832	302,443
4 その他経常収益	14,882	12,930
5 経常費用		
3 保険金等支払金	827,766	774,529
4 責任準備金等繰入額	508,805	516,923
4 資産運用費用	135,072	78,397
5 事業費	71,220	66,003
6 事業費	88,161	87,559
6 その他経常費用	24,506	25,645
6 経常利益		
6 経常利益	17,204	39,489
特別利益	1,430	14,032
特別損失	4,851	31,450
契約者配当準備金繰入額	11,967	12,839
税引前当期純利益	1,816	9,232
法人税及び住民税	2,247	3,398
法人税等調整額	△669	5,131
法人税等合計	1,577	8,530
当期純利益	239	702

1 保険料等収入

ご契約者さまから払い込まれた保険料による収入で、生命保険会社の収益の大宗をなしています。再保険収入もここに含まれます。

2021年度の保険料等収入は、前年度比13.0%増の4,986億円となりました。

2 資産運用収益

2021年度の資産運用収益は、前年度比22.2%減の3,024億円となりました。

3 保険金等支払金

保険金、年金、給付金、返戻金などの保険約款上の支払及び再保険料を計上します。

2021年度の保険金等支払金は、前年度比1.6%増の5,169億円となりました。内訳は、保険金が1,315億円、年金が968億円、給付金が984億円となりました。

4 資産運用費用

2021年度の資産運用費用は、前年度比7.3%減の660億円となりました。

5 事業費

新契約の募集及び保有契約の維持保全や保険金などの支払いに必要な経費で、一般事業会社の販売費及び一般管理費に相当します。

2021年度の事業費は、前年度比0.7%減の875億円となりました。

6 経常利益

生命保険会社の事業活動により継続的に発生する「経常収益」と「経常費用」の差額で、1年間の事業活動の収支結果を表します。

2021年度の経常収益は、前年度比3.7%減の8,140億円となりました。経常費用については、前年度比6.4%減の7,745億円となりました。

その結果、2021年度の経常利益は、前年度比129.5%増の394億円となりました。また、2021年度の当期純利益は、前年度比193.9%増の7億円となりました。

非財務ハイライト (2021年度)

人的資本

- 従業員数 (うち営業職員数)

11,536名(7,615名)

- 女性管理職比率

20.7%

- FP 技能士資格保有者数
(内勤職員と営業職員の合計)

4,829名

FP 技能検定は、厚生労働大臣より職業能力開発促進法 第47条第1項の規定に基づき指定試験機関の指定を受けて、日本FP協会が実施する国家検定です。

- MDRT 会員数

161名

1927年に発足した Million Dollar Round Table (MDRT) は、卓越した生命保険・金融プロフェッショナルの組織です。

- HDI 公開格付け

8年連続三つ星

本格付けは、計100名以上の一般消費者および HDI 国際認定資格を有する専門家が、お客さまの立場からコールセンターなどの「問合せ窓口」について審査し、最高ランクである『三つ星』から『星なし』までの4段階で評価するものです。

社会関係資本

- お客さま数 (被保険者数)

約205万名

- 保険金・年金・給付金支払額

3,267億円

2021年度にお客さまにお支払いした保険金・年金・給付金の合計は、3,267億円となり、多くのお客さまのお役に立っています。

- お客さま満足度

91.1%

2021年度10月実施

お客さま満足度とは、当社の生命保険商品や事務・サービスに関してご意見をいただく、「お客さま満足度調査」にて、満足・やや満足の評価をいただいた結果です。

「お客さま本位の業務運営に関する方針」の定着を測る指標としています。

- 取引企業数

約3.6万社

企業保険と事業保険の取引企業数

- 提携金融機関数

72行

2022年3月末時点の委託金融機関数

- 拠点数

63支社、444営業部・営業室

当社は全国47都道府県に63の支社と444の営業拠点を展開しており、各地域でお客さまに最適な商品・サービスをご提供しています。

- 大樹生命マイページ登録者数

約29.5万名

大樹生命マイページは、保険のご相談からお手続きまでトータルでサポートするお客さま専用のWEBサイトです。

- スマホアプリ「大樹らいふ倶楽部」登録者数

約13万名

「大樹らいふ倶楽部」は、当社が開催しているセミナーやイベント等のお知らせのタイムリーなご提供のほか、「健康増進」をテーマとした各種サービスをご提供するアプリです。